

## リサーチ・アシスタント（RA）の募集について

龍谷大学では2015年度より5年間、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の助成を受けて、「日本仏教の通時的・共時的研究—多文化共生社会における化策と展望—」をテーマに掲げた研究プロジェクトを開始し、その拠点として「アジア仏教文化研究センター」を設置、活動を行っております。

本プロジェクトは、日本仏教を世界的な視野から通時的・共時的に捉えるとともに、日本仏教が直面する諸課題を多文化共生の文脈で学際的に追究し、今後の展望を試みるものです。即ち、古代から近世に至る日本仏教の特殊性・普遍性を包括的に分析することで東アジア仏教圏のなかに日本仏教を位置づけ、また、近代日本の仏教者達が国家間の対立を超えた連帯や思想構築に如何に向き合ったのかを明らかにします。同時に、現代日本における仏教者による社会活動や、地域社会との関わりを、広くアジア諸地域における事例と比較対照しつつ、多面的に検討します。また多文化共生社会における相互理解を深めるため、宗教間対話、宗教間教育のあり方を考究します。

つきましては、研究プロジェクトの専任研究員の指示のもとに研究補助者として従事するリサーチ・アシスタント（RA）を、下記のとおり募集いたします。

### 記

- 1 募集人数 リサーチ・アシスタント（RA）1名
- 2 任用期間 2018年4月1日～2019年3月31日まで  
※ただし、本プロジェクトの存続期間（2020年3月31日まで）を超えない範囲で更新する場合があります。
- 3 職務 研究プロジェクトの研究員の指示のもとに研究補助者として従事する。職務内容には、シンポジウムやユニット研究会などの運営補助、プロジェクトやユニットに関わる業務処理補助なども含まれる。
- 4 勤務地 龍谷大学 アジア仏教文化研究センター（大宮キャンパス白亜館）  
〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町125番地の1
- 5 勤務時間 本プロジェクトでは原則週10時間
- 6 応募資格 別添「リサーチ・アシスタント（RA）について（龍谷大学「リサーチ・アシスタント任用規程」抜粋）」準拠。  
\* 仏教文化に関する研究に従事している若手研究者。  
\* 本研究プロジェクトは、国際的なネットワークの構築を重要な課題の一つとしているので、情報発信のために必要な、自分の研究分野にかかわる外国語能力、及びコンピュータ操作能力、プロジェクトやユニットに関わる業務処理能力を有するものが望ましい。  
\* 講演会等チラシ・ポスターのデザイン作成ができる方。
- 7 提出締切 2018年2月13日（月）書留郵送にて必着。
- 8 必要書類 ①履歴書（写真添付のこと）  
②研究業績書  
③各種スキルについての確認シート  
※外国語能力、コンピューター操作能力（ワード、エクセル、パワーポイント、ホームページ管理）、職務に関する実務経験について客観的に分かるように明記してください。  
④主要研究論文1篇  
⑤推薦書1通（推薦書のみe-mailでの提出可。ただし、PDF形式または送信履

歴などにて推薦者本人の署名が確認できるようにすること。)

⑥在学証明書 (1 通)

⑦成績証明書 [修士課程] (1 通)

※⑤、⑥の書類については、大学院研究科博士後期課程在学学生のみ要提出。

応募のために提出された書類は返却いたしません。予めご了承ください。

9 提出先 〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町 125 番地の 1 白亜館 2 階  
龍谷大学世界仏教文化研究センター事務部

アジア仏教文化研究センター「RA」係まで (書留郵送にてお願いします。)

10 選考方法 当センター研究員による書類審査。書類審査合格者には、面接を実施する。

※面接日は、2018 年 2 月 28 日 (水) を予定

\*お問い合わせについては、下記の e-mail アドレスまでお願いします。

龍谷大学世界仏教文化研究センター事務部 (担当: 西村)

e-mail: cswbc@ad.ryukoku.ac.jp

## 11 その他

### <プロジェクトの概要>

本プロジェクトは広い視野から日本仏教を通時的・共時的に捉えるべく、グループ 1 (通時的研究班) とグループ 2 (共時的研究班) を設けています。

#### 1) グループ 1 ユニット A

古代から近世に至る日本仏教の特殊性・普遍性について思想・儀礼・世界認識などの観点から包括的に分析することで、東アジア仏教圏のなかに日本仏教を位置づけることを目的とします。特に本センターおよびプロジェクトの基幹的理念である建学の精神「浄土真宗の精神」を基軸としつつ、日本仏教の思想基盤というべき南都・北嶺に展開した仏教を多面的・総合的にとらえる「南都学」・「北嶺学」の構築を目指すとともに、前近代日本における仏教的世界観を解明します。

#### 2) グループ 1 ユニット B

明治期から十五年戦争期までの日本の仏教者が、帝国主義と植民地主義を思想的背景とする国家間の覇権争いが次第に激化していく当時の国際社会のなかで、他国の仏教者 (宗教者) や研究者らといかなる相互交流を行い、国家間の対立を超えた連帯や思想を築きえたのか、その実態を明らかにします。

#### 3) グループ 2 ユニット A

現代における日本仏教の社会性と公益性について、日本における仏教者・教団による社会貢献活動の実態とその意義や、各宗派による現代的な諸問題への取り組み、地域社会における寺院の役割といった観点から考察します。またこうした日本仏教の現状に関する理解を深めるためにも、現代アジア諸地域における仏教の社会性・公益性に関する調査・研究を推進し、日本仏教の事例との比較考察を行います。

#### 4) グループ 2 ユニット B

「多文化共生」が求められる現代社会において日本仏教が直面する課題を明らかにするために、宗教間対話、宗教間教育、現代日本仏教とジェンダーに関する研究を行います。

以 上

○ リサーチ・アシスタント（RA）について（龍谷大学「リサーチ・アシスタント任用規程」  
抜粋）

（資格について）

RAの資格は、大学院研究科博士後期課程に在籍する学生、又はそれに相当する能力を有すると認められる者とする。

（職務について）

RAは、研究プロジェクト等の専任研究員又は専任教員の指示のもとに研究補助者として従事することを職務とする。

（勤務時間等について）

RAの1週間当たりの勤務時間は、原則として18時間以内とし、1日の勤務時間は7時間を上限とする。

勤務時間を変更する場合には、所属センター長の許可を得なければならない。

RAは、出勤日に指定の出勤簿に押印しなければならない。

（給与について）

RAの給与は、時給3,000円を支給する。

出張を命じられた勤務日の給与については、勤務時間にかかわらず1日6,000円とする。

（通勤手当について）

RAに、申請に基づき通勤手当を実費支給する。ただし、その支給額は1ヶ月30,000円を上限とする。

RAが本学大学院生の場合は、通勤手当を支給しない。ただし、当該RAが所属する大学院研究科のある学舎以外に通勤する場合は通学区間を除く実費を支給することができる。

以 上